

ウィルかわら版

will

平成二二年
十一月二日
併号

第十七号

編集 吉澤 隆
と
ウィルさいたま
吉澤企画の皆さん

皆さんどんな新年をお過ごしですか？このかわら版を受け取って下さる方のなかには、喪中の方も多くいらっしゃる事としますので、新年のご挨拶は敢えて今年も割愛させていただきます。本年もよろしく。



大宮に出て来て丸二年が経ちました。・まだ二年なんですね。

そして今回初めて、12月10日の十日市（とおかまち）と初詣の二回、氷川神社にお参りに行ってきました。



十日市の熊手の飾り

氷川神社は私のお気に入りのジョギングコースで、普段から時間を見つけてはやって来ていたのですが、やっぱりこのときとばかり押し掛ける参拝客と、参道に立ち並ぶ100件を超える屋台は圧巻です。

人の少ない早朝とはまた違った良さがありますね。

料金後納

ゆうメール

初詣の人ごみの流れに合わせて屋台一件一件をのぞき込みながらゆっくりと参道を進むと、その中に印象に残る「行列のできる広島焼き屋さん」がありました。その屋台の前から、隣の屋台の前をまたぎ、20分は待つのではないかとこの行列が出来ているのです。他には人がたかっているお店なんてほとんど無いんですよ。その秘密が知りたいと思い、さっそく並んでみました。

小麦粉とキャベツを敷き詰めた鉄板の向こうには、スキンヘッドのおじ様とその舎弟さんが言葉少なく黙々と作業を続けています。

どちらかというど声をかけ辛い感じで、ビジュアル的にはマイナスポイントです。

待ち時間が長いのもので、前後のお母さん達に話

怖いでしょ (汗)



しかけて、どうしてで並んでいるのかを尋ねてみると、お客さんは二通りいることがわかりました。

① 毎年買いに来る常連客が多い
② 行列を見て自分も並んでみた

なかには4〜5年通っているのだというファンまでいるのです。そして、なにが違うのか調査をすると、

【材料】他店が使っているベーコンの代わりに薄い牛肉を使用
【調理】弱火で良く焼いているので、他店よりでき上がりが遅い
【設備】使っている機材は他店と変わらないそうです

【人】スキンヘッドが他店より怖いです (汗)

実際他店と食べ比べたところ、確かに美味しかったです。でも、牛肉を使っているという特徴があるものの、その他は材料も道具もほぼ一緒。強いて言えばキャベツの刻み方がやや違うくらいで、真似ようとするれば簡単にマネのできるような違いのようです。

ファンの方達は口々に「いつ来ても美味しい」とか、「明日食べても美味しいので、二枚買っていくと良い」などと、無口な屋台のおじ様にかわり一生懸命教えてくれました。

待ち時間が長いことについても「弱火でゆっくり丁寧に焼いてくれるから美味しい」などと、弱点までも見方を変えて長所としてとらえてしまつてます。

ほんのちよつとの工夫と、ほんのちよつとのこだわり、ほんのちよつとの努力。その積み重ねがファンを作り、行列を伸ばしていったのだと思いました。

いつでも、きつと、あのお店なら美味しい。そういった期待感を育てたのだと思います。

そして、ファンの皆さんがまたお客様を呼んでくれるんですね。そんな姿を横から見ていると、売れない屋台のお父さんたちはなんであの店のマネをしないのだろう？と疑問に思えます。そんなに大きな差はないのに……。

ただ気が付かないだけかもしれませんし、勝手にあきらめてしまっているのかもしれない。勿体ないと思います。

どうせ同じような苦勞をするのなら、成果が出た方がきつと楽しいはずですよ。あとほんのちよつとの工夫と努力のお陰で、結果は5倍も10倍も違う。そんなことがあるのだと、お正月から教えていただいたようでした。氷川神社の神様ありがとう。良い年にしましょうね！

さあ、がんばろー！



will ウィルさいたま

☎ 0120-797-739

『再会』

年末にあった不思議な体験について書かせていただきます。

クリスマスも過ぎたある日、最近会っていなかった友人から突然電話が入りました。夜の9時過ぎです。共通の友人Sが亡くなったとの知らせでした。4年前に鈴鹿八時間耐久レースに出場した時のペアライダーだった男です。それも自ら命を絶つたとの事でした。

ショックでしたが、悲しいと言う感情がなぜか湧かず、ただ茫然とこの数カ月間のS君との記憶が頭に浮かんできました。

そのひと月前にも仕事の事やバイクのことで何度か電話で話していたのですが、「そう言えば元気がなかったかも」「そう言えば話すことがちょっと悲観的だったかも」と、そう言われてみればそんな予兆があったかも知れない。「なんで気が付いてやれなかったんだ」と悔やみました。

人の相談にのるために勉強もしたし、実際に相談も受けてきましたが、大事などころで役に立てなかったことばかりでした。

そして翌日。葬儀の準備もあるからと、友人たちに連絡をしようとしていると、また他の友人から電話がありました。

「ところでTさんの葬儀の件なんでしょうか。」

☆☆☆！・・・なににんい・・・

S君、生きてました！（汗）誤報というか、私のただの聞き間違いでしょうか？とにかく勘違いだったのです！

もう・・・、私は一晩落ち込んだり、自己嫌悪したり・・・。S君を知らない社員さんに泣き言を言ったりもしてしまいました！

・・・全くお騒がせしました。

以前にご恩のあったTさんを亡くした悲しい気持ちと、S君の無事を知りホッとし気持ちとで複雑な思いを抱えつつも、お通夜に参列しに横浜に向かいました。

会場には、知る人ぞ知る腕利きの職人だったTさんを偲び、多くの人が集まり、涙しました。お通夜が終わわり、祭壇でTさんと対面してゆっくりとお礼を言い、集まった友人たちとTさんの想い出話をしました。そしてそろそろ帰ろうかという時に、S君が喪服でやって来たのです。

全く不謹慎だと思ふ方もいるかもしれませんが、恥かしながら私は彼の顔を見て涙を流しそうになつてしまいました。バカですね。一晩亡くなつていた彼が蘇えって来てくれたような、そんな錯覚がありました。

レースの時には意見が合わずに一方的に文句を言ったこともありましたが。彼のコミカルなキャラクターに和ませていただいたこともありました。

お詫びするにも、お礼を言うにもまだチャンスがあるようです。

別れの時はいつ来るのか予想が出来ません。一期一会と言いますが、今、あなたの大切な人のことを、大切にしていますか？

そんなことをつくづく思い返す年末でした。



「年越しそば」

ご存知かと思いますが、私吉澤は只今、家族を神奈川に残し、大宮に単身赴任をしております。

そしてクリスマスには、6年生になると言うのにまだサンタさんを信じている私の可愛い娘のために、例年通りプレゼントを持って、そっと自宅に戻りました。もちろん大成功でした。そして翌25日に「埼玉にもどるよ」と元氣に出かけようとする、後ろから妻・息子・娘がそろって、「良いお年を〜！」と声をかけてくれました。

・・・ん？良いお年を？

それって、もう今年帰って来なくて良いって事？？ねえとおなの？

そんなこんなで、今年の大みそかにはご遺族のお宅で、独り者の男二人で年越しそばを作りました。

奈良町の高屋さん。相手にしてくれてありがとございました。でも、意外に料理は楽しかったです。



なかなかのもんでしょ！一人より美味しいですね！

「建設的な生き方を学ぶ会」

私たち「ウィル」は葬儀社ではありませんが、人の生き方を応援するような会社を目指しています。葬儀の時だけでなく、最後の時までその人らしく生き抜くお手伝いをする事や、ご遺族が大切な人を亡くした事実をゆっくりと受け入れていく時に、横でそっと手を添えること。そんなことができる会社になりたいと思っております。

そんな願いを込めて、静岡より杉井やすゆき先生をお迎えし、毎月一度学習会を開催し、モノの見方や考え方、生き方のコツなどについてお話を伺っています。ご関心のある方は、是非どうぞ。と言っても、堅苦しい会じゃありませんのでお気軽にお越しください。

1月2月の建設的な生き方を学ぶ会

1月11日、2月15日(火)18時半～
さいたま建設的な生き方を学ぶ会
(大宮、ウィル)

※ウィルの吉澤が主催しています

1月12日、2月16日(水)19時～
横浜建設的な生き方を学ぶ会
(石川町、横浜地域職業訓練センター)

※横浜在住の素敵な奥様達が主催しています

～お申込みはお電話で～

0120-797-739